

黒沢自由塾紹介 (顧問 鷲坂修二 代表 峯岸八戒)

思えば、黒沢自由塾は、住みよい地域づくりへの模索の5年間でした。
 学習会：「安曇野の農業に夢をいだけるか」「北小倉産廃問題」「地元豚の畜産学習会」「木質バイオマスガス化」などを開いた。

新市への要求：安曇野市長選公開討論会の開催

交流：武蔵野市「けやきコミセン」、「ビレッジ安曇野との経験交流」

安曇野発見：冷沢ウォーキング「源流の美味しい水を飲みにいこう」

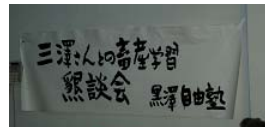
今年からは、ゆるやかな関係をベースに、月一回、第三水曜日に定例寄合（議題なし）を続けている。夢、悩み、愚痴もでてくる。ここで出た話や企画によって新たな活動がはじまることもある。協働の相手は、自由塾にこだわらない。環境問題をテーマの現代座「約束の水」の上演運動は自由塾をはるかに越えたものになっている。寄合での休耕田を借りて農業をという話も、自由塾でない人が加わって実現に向かっている。



農を縦系に・・・地元豚の暑気払い、葱の収穫、めざす地産地消。
 地元農業生産者と結ぶ「安曇野膳」づくりの話題も寄合の話にでる。



交流：武蔵野市けやきコミセンにて（左）、小倉の自由塾畑にて（右）
 （発端は、グリーンツーリズム観光の都市住民への意識調査。松本大との共同研究）



「三郷の農業に夢を抱けるか」のチラシ、産廃問題新聞記事、畜産学習会
 農業・健康・観光・環境・エネルギー・教育の問題の融合的克服かな？



自由塾の畑で蕎麦を収穫して、新蕎麦忘年会（蕎麦打ちは松本大中野学長）



黒沢自由塾展

芸術を横系に・・・絵、写真、折紙、手芸作、編物、ウエディングドレス、農産加工品、書、短歌、俳句、遺跡出土品・・・自作自演ギターソング、尺八、MEN'Sの歌。
 パネル:私の夢、ドメスティックバイレンスへの主張
 (一日市場の安曇野倶楽部自遊感にて)



I ターン増田望三郎君のグリーンツーリズムの農家民宿「地球宿」が2007年に開業。資金がなかったが、地域の人々やブログで知った人の応援で完成。これからもドラマを生み続けるだろう。